

【シンガポール】シンガポールにおける知財庁新長官指名（8月1日着任予定）について

2020年6月22日

ジェットロ・シンガポール事務所

シンガポール知財庁（IPOS）は、6月19日、現職のダレン・タン長官が、10月1日より次期WIPO事務局長に就任することに伴い、後任のIPOS長官としてレナ・リー氏（Mrs. Rena Lee）氏が指名されたと発表した。8月1日に着任予定。

レナ・リー氏は、1992年に国防省で法務官として公務員のキャリアをスタートさせ、1993年にシンガポール弁護士登録。その後、2008年に司法長官室国際課、2018年1月に外務省に出向。

最近では、在ハーグシンガポール外交官事務所の大臣参事官を務めた後、現在、シンガポールの海洋法問題担当大使及び外務大臣特使を務め、また、国家管轄権外区域の海洋生物多様性の保全と持続可能な利用に係る政府間会議の議長を務めている。また、国際海底機関（ISA）の法務・技術委員会のメンバーでもある。

情報公開日

2020年6月19日

URL等

<https://www.ipos.gov.sg/media-events/press-releases/ViewDetails/appointment-of-new-ce-intellectual-property-office-of-singapore/>

<https://www.channelnewsasia.com/news/singapore/daren-tang-intellectual-property-office-ipos-rena-lee-12852288>

以上

本内容は、日本貿易振興機構が独自に入手している情報に基づくものであり、その後の状況などによって変わる場合があります。また、掲載した情報・コメントは当該機構の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこの通りであることを保証するものではないことを予めお断りします。